

## 平成19年度 第3回和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成19年12月3日(月) 市役所7階 記者会見室		
出席委員氏名	井伊 博行(委員長) 山東 越子 廣谷 行敏 南出 和寛 山西 良子 <span style="float: right;">五十音順</span>		
審議対象期間	平成19年7月1日～平成19年9月30日		
抽出案件(総件数)	建設総務 8件 水道局 3件	議 事 1 入札及び契約手続の実績状況等の報告 2 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議 3 その他	
一般競争入札 (事前審査型)	建設総務 -件 水道局 -件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	建設総務 -件 水道局 -件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	建設総務 4件 水道局 2件		
公募型指名競争入札	建設総務 -件 水道局 -件		
指名競争入札	建設総務 4件 水道局 -件		
随意契約	建設総務 -件 水道局 1件		
委員からの意見・ 質問、それに対 する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建 議の内容	なし		

**和歌山市入札監視委員会**  
**平成19年度 第3回会議録**

<p>議事第1号 入札及び契約手続の実績状況等の報告</p>	<p>事務局説明</p>
<p>議事第2号 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議</p>	<p>南出委員より抽出の経緯について報告</p>
<p>(建設総務課分)</p>	
<p>[事後審査型一般競争入札(持参方式)]</p>	<p>事務局(建設総務課)抽出事案の概要説明</p>
<p>・中之島雨水ポンプ場電気設備工事</p>	<p>委員: はい。わかりました。</p>
<p>[指名競争入札]</p>	<p>事務局(建設総務課)抽出事案の概要説明</p>
<p>・岡崎小学校地震補強電気設備工事</p>	<p>委員: 参加業者がおおむね同じで落札率は、ほぼ横並びですね。</p>
<p>・紀之川中学校地震補強電気設備工事</p>	<p>事務局: はい。日進中学校地震補強電気設備工事以外の3件については、参加業者が同じです。</p>
<p>・日進中学校地震補強電気設備工事</p>	<p>日進中学校地震補強電気設備工事は、他の3件とは違い予定価格が500万円未満でありますので、参加業者が一部違います。</p>
<p>・城北小学校地震補強電気設備工事</p>	<p>委員: 3物件同じ参加業者で入札を行っているのですね。そのため落札率が92%前後で推移しているのですか。</p>
	<p>事務局: 今年度と同じ参加業者で入札を行ったものは91%前後で推移しております。また、500万円未満の参加業者であっても92%前後で推移しております。地震補強工事に伴う電気設備工事ということで、工事内容が同種工事であり工事時期も同時期での施工でありますので落札率が近似していると思われま</p> <p>す。</p>
	<p>委員: しかしながら、このような結果は、市民の方々から疑問の声があがるのではないのでしょうか。同じ参加業者で、こういう状況が今後も続くようであれば、何らかの対策を考えな</p>

<p>[事後審査型一般競争入札（持参方式）] ・松島本渡線歩道橋設置工事</p>	<p>ければいけないのではないですか。 事務局：地震補強電気設備工事以外についても同様の落札率で推移するのであれば、何らかの対策を講じていくつもりです。</p> <p>事務局（建設総務課）抽出事案の概要説明 委員：工事費内訳書を集計した表ですが、直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費について、市の設計金額との相違がありますが、通常はこの様なものですか。 事務局：市と業者の積算価格を比較すると直接工事費が業者の積算の方が高くなっているのは、市の積算価格が実勢価格に追隨できていない事も原因の一つではないかと思われます。また、現場管理費が業者の積算の方が低くなっているのは、落札するためには、総額が予定価格以下で応札する必要があるため、企業努力により切り詰めているのではないかと推測されます。</p>
<p>[事後審査型一般競争入札（持参方式）] ・西脇小学校他2校耐震改修設計業務 ・和歌山市立商業高等学校耐震改修設計業務委託</p>	<p>事務局（建設総務課）抽出事案の概要説明 委員：他の設計業務の落札率はどうですか。 事務局：他の設計業務の落札率は低い傾向にあります。 委員：そうであれば、耐震改修設計業務の市の積算価格が実勢価格に追隨できておらず適合性がないのかもしれないですね。参加業者数も少ないようですね。 事務局：過去の同種設計業務に参加した業者も今回は参加していません。参加業者数が少なかったもう一つの要因としましては、技術者の5人配置を仕様書で明示しておりましたので、その確保も困難だったのではないかと思われます。 委員：耐震診断の設計ですか。 事務局：耐震診断は、前年に実施しています。今回</p>

<p>(水道局分)</p> <p>[事後審査型一般競争入札(持参方式)]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 有家配水管布設工事</li><li>・ 狐島配水管布設工事</li></ul>	<p>は、その診断に基づき地震補強改修に係る詳細な設計です。その中には、電気設備、機械設備も含まれています。業務量は、かなりの量だと思われます。</p> <p>委員：手間ひまがかかる業務なので、参加業者数が少ないのですね。今後は、参加業者を増やすために、対象範囲を拡大するなど対策が必要ではないですか。</p> <p>事務局：はい。検討していきます。</p> <p>事務局(水道局) 抽出事案の概要説明</p> <p>委員：一般競争入札を行っている「有家配水管布設替工事」は落札率が低く、「狐島配水管設替工事」については、落札率が高いと思われます。同種の工事であるのに、どうして落札率に開きがあるのですか。</p> <p>事務局：入札参加条件の違いによるためと思われます。「有家配水管布設替工事」は管工事業の建設業の許可を得ている者、「狐島配水管設替工事」は管工事業の特定建設業の許可を得ている者とし、それぞれ総合点数750点以上であることを入札参加条件といたしました。これは、水道局の一般競争入札実施要綱で設計金額が6,000万円以上の建設工事においては、建設業法に規定する特定建設業の許可を得ている者としているためです。しかし、この入札結果を見る限りでは、一般競争入札を行う際、特定建設業の許可を得、総合点数750点以上であっても参加者が限られてくるため、このような結果になったと思慮します。よって、10月から起工される設計金額が6,000万円以上の工事には、従来の管工事業(水道局)を希望している者に加え、土木工事業を希望している者の参入も可能とし、一般競争入札の競争性を高めるようにしていま</p>
--	---

<p>[随意契約] ・木ノ本配水管布設工事</p>	<p>す。 事務局（水道局）抽出事案の概要説明 委員：はい。わかりました。</p>
<p>議事第3号 その他</p>	<p>委員：先般、新聞紙上に和歌山市水道局関係の記事が掲載されていまして、水道局からその内容について説明願います。 事務局：「競争入札を行えば、低価格での応札が増えているが随意契約は、高落札率となっている」という内容の記事です。競争入札については、入札参加条件の変更を行ったことにより競争性が発揮され低価格での入札が増えたものと思われます。一方、随意契約で行う工事は、他の発注者の発注に係る現に施工中の工事と交錯する箇所で行う工事について適用することとしています。よって、見積書は、当該工事を施工している者から徴することになり、競争性が発揮されないため落札率は高くなる傾向があると思われます。水道局といたしまして、安易に先行する工事業者と随意契約するのではなく、工期の短縮、経費の節減、工事の安全・円滑及び適切な施工等を確保できると判断し、真に止むを得ない場合に限り随意契約を行うべきであると考えます。</p>
<p>次回の日程について</p>	<p>事務局：次回（第4回入札監視委員会）の日程については平成20年2月下旬を予定しております。</p>